

図1 授精から排卵までの時間と受胎率との関係

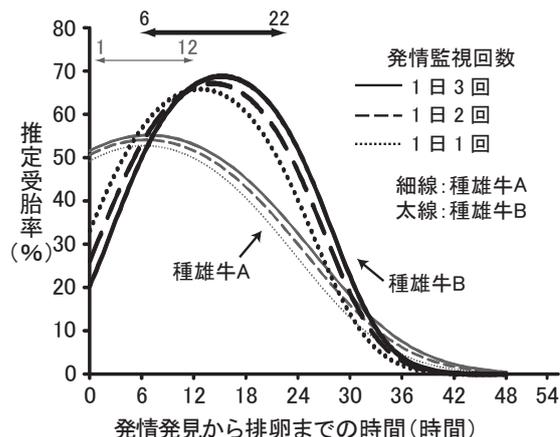


図2 発情発見から授精までの時間と推定受胎率との関係

\*グラフ上部の矢印：発情監視回数に関わらず50%よりも高い受胎率が得られると推定される時間帯（細線：種雄牛A、太線：種雄牛B）

表1 現場農場において実施可能な性選別精液の授精指針

発情発見時間帯	推奨される授精時期
朝	当日昼過ぎ～夕方
昼過ぎ～夕方	翌日朝（可能な限り早め）*
夜	翌日午前

\*可能であれば、当日夜  
時間帯の目安：気象庁発表の「1日の時間細分図」を参照  
(朝：6:30～8:30、昼過ぎ～夕方：14:00～16:00、夜：19:00～21:00)

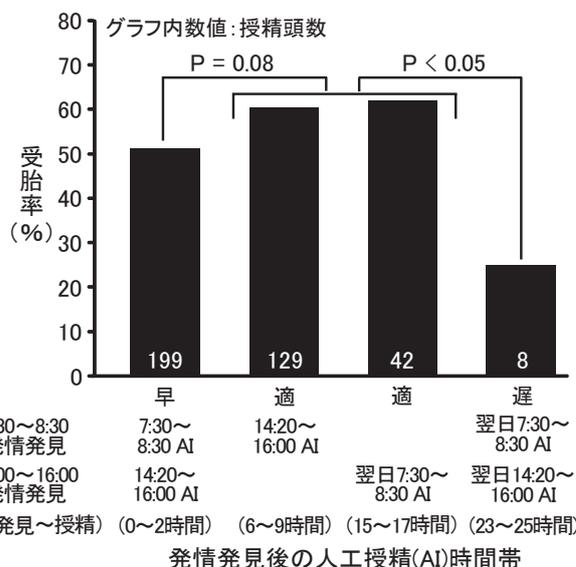


図3 発情発見後の人工授精時間帯と受胎率との関係

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。  
 道総研根釧農業試験場 研究部 乳牛グループ 古山 敬祐  
 電話 (0153) 72-2004 (内線) 220 FAX (0153) 73-5329  
 E-mail : koyama-keisuke@hro.or.jp